

草加のココが聞きたい！ 一般質問

一般質問とは、定例会において議員個人が市政全般について市長などの執行部の考えや、方針を質問するものです。

そうか市議会だよりでは、一部の質問を取り上げて要旨を掲載しています。（掲載は発言順です）

なお、草加市議会では、正・副議長、監査委員、議会運営委員会委員長は一般質問等の発言が制限されています。



2月定例会では12人の議員が一般質問をしました！

一般質問の内容は草加市議会ホームページの議会中継（録画放映）からご覧になることができます。
また、議会中継のページでは、①「**発言通告の内容などでキーワード検索**」ができるほか、②「**議員名**」や③「**会派名**」ごとに閲覧することができます。



矢部正平 議員

会派名
草加自民党・無所属の会

職員採用・労働環境の抜本的な見直しを！

質問 求人において売り手市場が続く草加市役所も中途退職が年々増加しており、公務員と民間との柔軟な働き方による差が問題だと考える。民間も進めているフレックスタイム制や副業の拡大は？

答弁 職員の多様な生活スタイルと仕事との調和や、働きがい向上のメリットがあるため検討していく。

質問 民間では退職者を再雇用につなげるアルムナ

イ採用制度を導入し成果が出ている。退職後も会社と退職者がネットにつながることによって個々の事情に応じた求人情報を提示し採用している。アルムナイ採用やアルムナイネットワークの考えは？

答弁 人材育成のコスト削減、即戦力人材の確保の効果も見込めるアルムナイ採用の調査・研究を進めていく。

金井俊治 議員

会派名
公明党
草加市議会議員団

公共施設での猫の譲渡会等の開催について

質問 飼い主のいない猫の公共施設での譲渡会等の開催について、令和元年9月定例会の一般質問で答弁があったが令和元年9月以降どのような検討を行ってきたのか。

答弁 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、譲渡会の開催に向けた検討を進められなかった期間もあったが、市民ボランティアの皆様

から、各団体が開催する譲渡会の様子について話を聞いていた。県動物指導センターに対し、本市と共催での譲渡会の開催の可能性について、継続的に情報収集を行っており、引き続き市民ボランティアの皆様や県または隣自治体と意見交換を行い、開催・運営方法等について調査・研究を進めていく。

並木正成 議員

会派名
SOKA新政議員団

水泳及びプールに関する事柄について

質問 全国的に学校のプールが老朽化する中で、施設の更新や改修、維持管理費など多額の費用を要しており、年間の利用日数が限定されるなど、プールの在り方について抜本的な見直しが必要と考えられる。今後どのような考え方で対応していくのか？

答弁 市内の学校プールについては、多くの施設が設置から相当期間が経過

し、老朽化が進んでいるので、安全に水泳授業ができるよう、状況に応じて修繕等を行っている。このような状況を踏まえ、安全かつ円滑な水泳授業が実施できるよう、今後の市立小・中学校の水泳授業及びプール施設の在り方について、教育委員会内で検討している。

藤原みどり 議員

会派名
公明党
草加市議会議員団

フレイル予防の推進で健康寿命の延伸を！

質問 フレイル該当者を把握する取組及び把握したフレイル高年者数の推移と主な年代は。

答弁 高年者が集まる介護予防教室等において、筋力、活動量及び認知機能の低下に関するチェックリストを用いて把握に努めている。フレイル該当者は、令和3年度は159人中42人、令和4年度は358人中40人、令和5年度は256人中65人と推移

している。主な年代は70歳代後半から80歳代前半。
質問 フレイル予防に対する市の見解は？

答弁 健康寿命の延伸のためには、早期の気づきと、個々の心身の状態に応じた体系的なフレイル予防の取組が重要である。引き続き、認知症検診や後期高齢者健診のデータを有効活用し、広く把握し、フレイル予防の取組の普及啓発に努めていく。